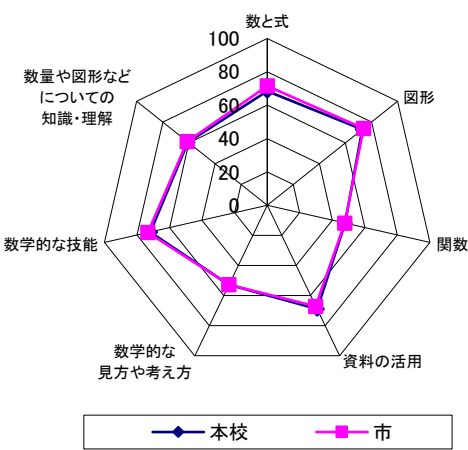


宇都宮市立陽南中学校 第3学年【数学】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	数と式	68.5	71.5	66.8
	図形	72.9	73.8	70.4
	関数	47.8	47.8	41.6
	資料の活用	68.9	67.1	61.4
観点別	数学的な見方や考え方	52.7	52.8	45.8
	数学的な技能	71.8	73.3	68.1
	数量や図形などについての知識・理解	60.8	61.2	57.9

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
数と式	○累乗を含む正負の数の減法では、正答率が90%を超えており、市平均より1.8ポイント高い。 ○2次方程式の立式は、市平均より2.1ポイント高い。 ●平方根の大小について、値の小さい順に並べる問題は、市平均より5.8ポイント低い。	・基本的な計算問題を継続して行うとともに、繰り返し復習し、理解が深まるよう指導する。 ・問題を解決するため、その数は何を表しているのかを丁寧に扱い、解決するときの考え方や手順を理解させ、適切な方法で解決できるよう指導する。
図形	○垂直二等分線の作図についての問題は、市平均より0.5ポイント高い。 ●証明に必要な相似条件を選ぶ問題については、市平均より4.7ポイント低い。	・コンパス、定規を用いて丁寧な作図をさせ、基本的な図形の性質をきちんと理解させるよう指導する。 ・図形に関する基礎知識や定理など丁寧に復習し、証明に必要な事柄を見つけさせるよう授業展開を工夫する。 ・解答のみならず途中の考え方を大切に扱い、自分の考えを共有することで、論証の苦手意識をなくすよう努める。
関数	○1次関数におけるグラフから式を読み取る問題では、市平均より2.5ポイント高い。 ○関数 $y=a\chi^2$ における変域を求める問題では、市平均より5.6ポイント高い。 ●1次関数のグラフの特徴を説明する問題では、市平均より4.3ポイント低い。	・2つの数量の関係から、「式」「表」「グラフ」を関連付けながら、理解を促す指導をする。 ・日常生活の中で興味関心が高まるような身近な問題から、関数の値の変化や特徴を理解させるよう指導する。 ・自分の考えや根拠をもとに説明できるよう数学の問題場面でも記述できるよう指導する。
資料の活用	○資料の活用の中央値について理解することについては、市平均より3.4ポイント高い。 ●資料の活用のヒストグラムについて説明をする問題については、市平均より1.7ポイント低い。	・資料を整理し活用する問題では、度数分布表やヒストグラムなどの言葉の意味など丁寧に指導するとともに、興味関心が高まるような身近な問題を取り上げるよう指導する。